

地域県土警察常任委員会資料

(令和5年9月20日)

[件名]

- 「とっとり防災フェスタ2023」の開催について
(危機対策・情報課) … 2
- 島根原子力発電所の安全対策等の状況について (第18報)
(原子力安全対策課) … 3
- 令和5年度第3回鳥取県原子力安全顧問会議の開催結果について
(原子力安全対策課) … 4
- 令和5年度第1回鳥取県原子力安全対策合同会議の開催結果について
(原子力安全対策課) … 6
- 令和5年度鳥取県原子力防災訓練 (人形峠環境技術センター対応) の
実施結果について
(原子力安全対策課) … 7
- 令和5年度全国少年消防クラブ交流大会の開催結果について
(消防防災課) … 8

危機管理部

「とっとり防災フェスタ2023」の開催について

令和5年9月20日
危機対策・情報課

県民の防災に関する意識の高揚を図ることを主目的に平成20年度から開催しており、今回は13回目になります。今年は鳥取地震から80年の節目であり、地震防災を主なテーマとして関係機関・団体と連携して総合防災訓練を実施しました。

また、4年ぶりに展示・体験ブースなど県民が参加・体験できる要素を盛り込み、防災関係機関の展示型訓練を多くの方々に参観いただく集客型として開催しました。

1 日時・場所

(1) 日時 9月10日(日) 10時から15時まで

(2) 場所 [主会場] 鳥取港、賀露港、わったいな・かっこ館周辺 [その他] 鳥取空港、東部市町各会場

2 参加機関・団体

鳥取県、東部市町、防災関係機関、指定地方行政機関、指定(地方)公共機関、その他団体等

65機関・団体 約600人。来場者は約6,000人。

3 実施内容

今年は、1943年(昭和18年)9月10日に発生した鳥取地震80年の節目の年であることから、大規模地震を想定し、実動組織のヘリ・船舶等参加による鳥取県東部地区での実践的な対応、応急対策実施時における行政機関・実動機関間の連携強化と対応能力の向上を図る訓練を実施した。

〔総合防災訓練〕(実施場所：鳥取港・賀露港、鳥取空港、東部5市町各会場)

○鳥取空港で航空自衛隊美保基地輸送機(C-2)から陸上自衛隊ヘリコプター・県警ヘリコプターに救援物資を移送・住民への引渡し訓練、賀露港で船からトラックへ緊急物資の受渡し訓練、ライフライン応急復旧訓練

○東部5市町各会場での関係機関連携による合同訓練(住民避難訓練、避難所運営訓練、ヘリコプター(陸上自衛隊・警察・消防防災)や海上保安庁巡視艇による孤立地域からの住民避難訓練など)

〔展示型訓練〕(実施場所：鳥取港・賀露港)

○関係機関連携による土砂埋没家屋・車両、倒木挟まれ車両からの救出救助訓練、ヘリコプターによる防波堤孤立者救助訓練、海上自衛隊艦艇一般公開

〔啓発イベント〕(実施場所：わったいな・かっこ館周辺)

<ステージイベント> ●鳥取県自主防災組織等知事表彰式

〔受賞団体〕面影地区自主防災会連絡協議会(鳥取市)、今津自主防災会(米子市)、東鴨新町自治公民館消防部(倉吉市)、南さいはく地域振興協議会(南部町)、菅沢自治会(日南町)

●警察音楽隊演奏 ●鳥取県女性防火・防災連絡協議会の救命劇「水戸黄門」

●よしもと芸人による消防団PR など

<展示・体験エリア>VRによる地震体験、降雨体験、地震による倒壊実験、土石流模型実験、避難所模擬展示、小型ドローン操縦、警察官などの制服試着(ちびっこコスプレ)、災害対応各種車両展示など

4 実施成果等

○多くの防災関係機関等の参加で、相互理解による連携強化が図られ災害対応能力の向上が図られた。

○多くの方に、実動訓練、展示・体験ブースや防災車両等を見ていただき、防災意識の向上及び自助・共助の重要性への認識が高まった。

[フェスタの様子]



展示・体験ブース
(わったいな周辺)



土砂埋没車両からの救出
訓練(鳥取港)



巡視船での孤立住民避難訓練
(賀露港)

島根原子力発電所の安全対策等の状況について（第18報）

令和5年9月20日

原子力安全対策課

島根原子力発電所2号機及び3号機の原子力規制委員会による審査状況は次のとおりです（前回報告はいずれも8月21日の常任委員会です）。

1 島根原子力発電所2号機

令和3年9月15日、発電用原子炉設置変更許可。

8月30日、設計及び工事の計画認可。

(1) 審査

ア 保安規定変更認可申請の審査（前回報告から変化なし）

平成25年12月25日申請。

補正書提出1回、審査会合1回、ヒアリング4回（9月11日現在）。

イ 使用前事業者検査

令和5年3月29日開始。

安全対策工事が、設計及び工事の計画どおりに行われていること等を事業者自らが確認する検査。現在は各設備の材料検査、寸法検査、外観検査等を行っている。

9月11日に中国電力は使用前確認申請書※を提出し、再稼働を令和6年8月と公表。

※ 中国電力の行う使用前事業者検査が適切に行われ、終了していることを原子力規制委員会に確認してもらうための申請書。

(2) 安全対策工事（前回報告から変化なし）

中国電力は安全対策工事の完了予定時期を令和6年5月と公表。現在は防波壁の補強工事や津波漂流物対策工事、アクセスルートの改良工事等を行っている。

(3) 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）の審査

平成28年7月4日申請。

補正書提出1回、審査会合17回、ヒアリング34回（9月11日現在）。

8月29日に原子力規制委員会の石渡委員が現地調査を実施し、特定重大事故等対処施設の設置予定地の地質構造等を確認した。石渡委員は調査後、「（特定重大事故等対処施設の審査の進捗について）かなり進んできている」との認識を示した。

2 島根原子力発電所3号機

平成30年8月10日申請。補正書提出2回、審査会合6回。

9月14日に審査会合（6回目）が開催され、原子炉圧力容器内等で起きる物理現象の挙動を解析する炉心解析コードの適用性について、前回（5月18日）までの審査会合での指摘事項に回答した。新たな指摘はなく、今回の審査会合で解析コードに関する審査は一旦終了した。

令和5年度第3回鳥取県原子力安全顧問会議の開催結果について

令和5年9月20日
原子力安全対策課

8月8日、中国電力から「島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定」第6条第1項第3号の規定に基づく同発電所1号機の廃止措置計画に係る事前報告を受け、原子力安全顧問会議を開催し、廃止措置計画が安全かつ適切に実施されるか、専門的な観点から確認した結果を県へ報告しました。

- 1 開催概要 9月1日（金）午後1時30分～午後2時、米子商工会議所 ※Web 併用
- ・県原子力安全顧問（12名出席/17名）
 - ・知事、副知事、危機管理部長、米子市、境港市、中国電力他

2 島根原発1号機の廃止措置計画変更に対する原子力安全顧問の意見

(1) 確認結果 廃止措置計画の変更内容は妥当と評価

(2) 総評 ※次頁に「島根1号機廃止措置計画変更に対する顧問意見(総括)」を添付

○評価

- ・第1段階は放射線管理区域外の設備撤去等を安全に実施、第2段階で実施する管理区域内の設備撤去、使用済燃料搬出等の計画は妥当。
- ・工程の変更（第2段階の6年延長）は六ヶ所再処理工場の竣工遅れによるものと理解。
- ・周辺公衆への被ばく防止等の放射線管理、放射性廃棄物管理は妥当。

○要望

- ・今後行われる原子力規制委員会の審査に対しては真摯に対応するとともに、その審査状況や審査結果について、原子力安全顧問や県民に透明性をもってわかりやすく丁寧に説明することを求める。
- ・第3段階への移行の際は改めて説明することを求める。

参考：鳥取県原子力安全顧問一覧

分野	専門分野	所属・役職	顧問名	出欠
環境モニタリング	放射線計測・防護	福山大学名誉教授	占部 逸正	○
	環境放射能	広島大学・教授	遠藤 暁	○
	放射線管理学	京都大学複合原子力科学研究所・教授	藤川 陽子	○
放射線影響評価	線量評価（内部被ばく）	日本文理大学・教授	甲斐 倫明	○
	緊急被ばく医療	放射線影響研究所・理事長、広島大学名誉教授	神谷 研二	○
	救急医学、被ばく医療	量子科学技術研究開発機構・グループリーダー	富永 隆子	
	放射線治療	鳥取大学医学部附属病院・教授	吉田 賢史	
原子炉工学	原子炉工学	大阪大学名誉教授、原子力安全/炉研研究所・所長	片岡 勲	○
	原子炉物理	大阪大学・教授	北田 孝典	
	原子炉工学	東京都市大学・准教授	牟田 仁	○
	熱加工力学、材料力学	大阪大学・教授	望月 正人	○
	原子炉工学	名古屋大学・教授	吉橋 幸子	
放射性廃棄物	核燃料サイクル	京都大学・教授	佐々木 隆之	○
地震関係	強震動、震源断層	鳥取大学・教授	香川 敬生	○
	地震活動・震源メカニズム	鳥取大学名誉教授	西田 良平	○
地下水地盤対策	地盤工学	鳥取大学・准教授	河野 勝宣	
原子力防災	都市・地域防災学	筑波大学・准教授	梅本 通孝	○

島根原子力発電所1号機の廃止措置計画変更に対する原子力安全顧問意見(総括)

原子力安全顧問会議では平成29年7月に、中国電力の廃止措置計画について安全対策への取り組みが適切に行われることを確認し、廃止措置計画の全体計画と第1段階の作業内容が科学的・技術的に適正であることを確認した。その際、第2段階の開始前に改めて廃止措置計画を確認する旨の意見を述べた。このたび、中国電力から第2段階への移行について報告があったことから、原子力安全顧問会議として第2段階の内容について確認することとし、各顧問がそれぞれの専門家の視点から以下の3点について科学的・技術的に確認した。

1 第1段階の実施状況及び第2段階の内容

- 第1段階は、新燃料の譲渡し及び管理区域外の設備撤去が大きなトラブルや外部への放射線の影響もなく、安全かつ計画どおり行われたことを確認した。
- 汚染状況の調査により、一部の機器において線量が高いことを把握し、除染によって放射線量を低減させて作業員の被ばく低減に大きく寄与することを確認した。また、放射性固体廃棄物(L3)の推定発生量の評価精度が向上し、L3の一部が放射性物質として扱う必要のないもの(クリアランス物制度対象物)となり、L3の推定発生量が減少することを確認した。
- 第2段階の作業内容については、第1段階で行われた汚染状況の調査結果や除染の結果に基づいて策定した解体方法や解体手順で、安全に設備の解体撤去を行うことを確認した。
- 使用済燃料の保管については、燃料プールの水位計や水温計による機械的な監視、運転員による24時間監視等の必要な監視体制が構築されていることを確認した。
- 使用済燃料は第2段階中に搬出する計画であることを確認した。

2 廃止措置計画の工程見直し

- 使用済燃料の確実な搬出のために第2段階を6年延長することは、再処理施設の現状に基づく外部環境要因によるものと理解する。しかしながら、電力事業者として使用済燃料対策は最大限努力して取り組むべきである。
- 第2段階で汚染状況の調査の継続については、第3段階の設備解体作業における廃棄物管理と作業員の被ばく低減に有効であると認められる。
- 第4段階の2年間の工程短縮については、引き続き先行廃止プラントでの実績について情報収集を行い、その結果を参考に安全を第一義とした慎重な工程管理を求める。

3 放射性廃棄物の管理

- 平常時及び事故時の周辺公衆に対する被ばく線量については、各種指針に基づき、十分に保守的な設定・想定で評価され、漏えい及び拡散防止機能の維持等により、周辺公衆への被ばく線量が低いものであることを確認した。引き続き、更なる被ばく低減対策に取り組むことが必要である。
- 発生する放射性廃棄物は、第2段階中は敷地内で安全に管理されることを確認した。引き続き搬出先の確保に努力すべきである。
- 放射性固体廃棄物の推定発生量については、今後も汚染状況の調査結果に基づき、評価精度の向上を図る計画であることを確認した。

4 総 評

以上のことから、原子力安全顧問会議としては第1段階の廃止措置が安全に行われ、第2段階の廃止措置の内容について安全に行われることを確認したことから、廃止措置の全体計画と第2段階の作業内容は適正であると評価する。

今後行われる原子力規制委員会の審査に対しては真摯に対応するとともに、その審査状況や審査結果について、原子力安全顧問や県民に透明性をもってわかりやすく丁寧に説明することを求める。

なお、第3段階への移行の際は改めて説明することを求める。

令和5年度第1回鳥取県原子力安全対策合同会議の開催結果について

令和5年9月20日
原子力安全対策課

島根原子力発電所1号機の廃止措置計画変更について、米子市及び境港市の原子力発電所環境安全対策協議会委員からの意見を聴取することを目的として、次のとおり原子力安全対策合同会議を開催しました。

- 1 開催概要 9月1日（金）午後2時～午後3時30分、米子商工会議所 ※Web 併用
 - ・米子市原子力発電所環境安全対策協議会委員（米子市長他 26名出席／32名）
 - ・境港市原子力発電所環境安全対策協議会委員（境港市市長他 23名出席／33名）
 - ・県原子力安全顧問（12名出席／17名）
 - ・知事、副知事、危機管理部長、福祉保健部長、原子力環境センター所長、西部総合事務所、米子市、境港市、島根県、中国電力他

2 議題

（1）島根原発1号機の廃止措置計画の変更内容（中国電力による説明）

第1段階の実施状況、第2段階の内容、廃止措置計画の工程見直し等について

（2）島根原発1号機の廃止措置計画変更に対する原子力安全顧問の意見

原子力安全顧問会議で廃止措置計画変更を確認した結果、妥当と評価したことを県に報告。

（3）主な質疑応答

米子市協議会委員

- ・廃止措置の期間延長は、青森県六ヶ所村の再処理工場の竣工の遅れによるものとあるが、再三延期され竣工の目途が立っていない。廃止措置には影響はないのか。
→（中電）現在、六ヶ所再処理工場は新規規制基準（工事計画認可）の審査中であり、他の電力事業者も協力している。審査も進んでおり、2024年度上期竣工を目標に進められている。
- ・廃止措置に伴い発生する低レベル放射性廃棄物の管理は適切に行われるのか。
→（中電）放射性廃棄物は搬出するまで安全に管理する。汚染調査の継続、処理等の実施により可能な限りクリアランス制度対象物としての搬出も目指す。

境港市協議会委員

- ・廃止措置が延期となるが、廃止措置中の放射線に対する外部への影響は大丈夫か。
→（中電）粒子状放射性物質はフィルタで除去されるようになっており、仮に事故が起きた際も国の基準値を遵守できるものとなっている。

参考：鳥取県原子力安全対策合同会議について

島根原子力発電所の安全対策に係る重要な議論に際し、住民等との情報共有や意見交換及び専門家である鳥取県原子力安全顧問の意見を聞くため、米子・境港両市の原子力発電所環境安全対策協議会と鳥取県と合同で会議を開催するもの。

令和5年度鳥取県原子力防災訓練（人形峠環境技術センター対応）の実施結果について

令和5年9月20日
原子力安全対策課

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターにおいて、原子力災害が発生した際の迅速かつ適切な対応につなげるため、緊急時の対応手順の確認や災害対応要員の練度向上を図ることを目的とした原子力事故・トラブル発生を想定した原子力防災訓練（鳥取県独自の機能別訓練）を9月7日に実施しました。

1 日時

9月7日（木） 午前9時～正午

2 場所

三朝町総合スポーツセンター、中部総合事務所

3 参加機関

鳥取県、三朝町、鳥取中部ふるさと広域連合消防局
（鳥取県内参加者約50名、三朝町民7名）

4 主な訓練項目

- (1) 原子力防災資機材、モニタリング資機材等の操作方法の習熟
- (2) 住民との協働による避難所開設訓練の実施及び避難者の受付手順等の確認
- (3) 緊急時モニタリングの実施手順の確認

5 訓練内容等

訓練項目	内 容
原子力防災資機材等展開訓練	・県のドラッシュテントの展開や中部消防局のツーラインテント、除染テント等を展開した後、災害対応要員の汚染検査や流水除染等、資機材の運用手順を確認。
原子力災害医療活動訓練	・内部被ばく検査等を実施するホールボディカウンタ(WBC)車機器の運用手順を確認。
避難所開設訓練	・原子力災害時の避難所開設訓練を三朝町で初めて実施。 ・町職員と住民（7名）が協働し、受付、居住スペース（段ボール間仕切り・ベッド等）を設置 ・避難所内に各種対策に必要な資機材も展開 熱中症対策：スポットクーラー及び扇風機 プライバシー対策：ワンタッチテント 停電対策：PHEV車（公用車）からの給電設備 ・設置後は、避難者の受付手順を確認
緊急時モニタリング訓練	・モニタリング資機材の操作・実施手順や、試料採取、要員及び資機材の汚染管理の手順を確認 ・モニタリング情報共有システム等を活用した情報伝達、報告、共有手順を確認



原子力防災資機材等展開訓練



避難所開設訓練



令和5年度全国少年消防クラブ交流大会の開催結果について

令和5年9月20日
消 防 防 災 課

将来の地域防災の担い手育成を図るため、家庭や学校あるいは地域の防災・防火の輪を広げるリーダーとしての活躍が期待される少年消防クラブ員（小学生～高校生）が、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて、他地域のクラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から災害の教訓や災害への備え等について学ぶことを目的とした「全国少年消防クラブ交流大会」を米子市内において開催しました。

※本大会は、平成24年から開催されています。（鳥取県では初めての開催です。）

（参考）H24:岩手県、H25～27:徳島県（H26は台風で中止）、H28:宮城県、H29:徳島県、H30:千葉県、R1:徳島県
なお、本大会は、令和2年度に同市内で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて3度にわたり中止となっていたものです。

日時会場	9月16日(土)皆生グラウンドホテル天水	9月17日(日)どらドラパーク米子陸上競技場
内 容	オリエンテーション、クラブ紹介、郷土芸能鑑賞	開会式、合同訓練、閉会式
主 催	消防庁	
共 催	鳥取県、米子市、(公財)鳥取県消防協会、(公財)日本消防協会、(一財)日本防火・防災協会	
参 加 者	全国から37クラブ、254名 ※鳥取県からは「米子市消防団少年消防クラブ」7名が参加	
合同訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ対抗リレー（水消火器で的を倒す等して、5名のバトンリレーのタイムを競う。） ・クラブ対抗障害物競走（5名でコース上の障害を越えながら、ホース延長し、ゴールする。） 	



交流会クラブ紹介



開会式



合同訓練（クラブ対抗リレー）



合同訓練（クラブ対抗障害物競走）



合同訓練（クラブ対抗障害物競走）
※米子市消防団少年消防クラブ



閉会式